

府會計課
之に關
の我資
氏就任

朝

鮮ん 鐘くわ

頻筆

子爵松
なり三
勝勢列

松平 平東拓理
十日午後
原にて事

理事 理事は東京
七時五
本上す

東
京本社
十分南

15
21

理事 同 同 同 同 同

久原（總督府）

西●中●小●津●和●川●九●
原●蘭●鍋●田●村●崎●
用●鶴●新●

太郎馬司雄郎山

林産

升（米鐵）
書を説く
業開發の
であり外
産額の増
唯注意
他の農産
水産

（中略）
餘地は、
から、
加を全
すべき

吾國に於
上巡の如
頗る廣く
互に努力
圖せねば
此の鐵



100

店 胖 吳 越 三 城 京

ぬる、早くから始めて煙火が轟いて、
 も、速て居るといふ様な挨拶。 「お、三ッ、甚さんの處へは行かぬ、何故松兵衛さん行かねば、何故？」
 も、三人共酒を云つたら目が無いんだ。松一何故？
 善吉「處へは松兵衛の處へは行かぬ、何故？」
 ないで何うしても甚五郎の家で始まる、こいつは如たて、山椒
 る、内儀さん達がグズ／＼云ふ油でも酔でも焼き鹽を付けて嚼
 けれど、却々取合はない清して遣ても世辭が無くて宜いと思ふ
 つて居る、何ういふ露だといふより、ブラ下げて行くこと甚さんが暇
 松兵衛の處へ行つて飲ると云ふ顔をするだらう。善「ウム、松一
 とになると、仕事のため紙の物を提げて來ねわだつて魚骨
 粉だの漆だの、ダラシなく種々有るといふ様な面をしやがつて、
 物並べてあつて小汚ないに、庵に降るからもう行かねば、善
 云ふで、家では飲らないと云つて、これは叶ねじや、あねわ、松
 仕立屋の善吉の處なら宜さそうな故、善「何も手ぶらで飲みに行
 のだが、何うと酒者を遣ふ時に他人の物を飲め、作し、作す、
 適しては叶けないとか、あすこで腹を空にするといふのなら、
 汚物が出来たとか云つてグズ／＼降るといふことあるだらう、
 云つて見舞て叶けないから、お得ワン、善「先方、何にも酒の魚を
 意様の大切な物を頂つて居る物が、つて來ねわだつて宜からうと、
 腹で居るんで、猪目、家や、ア遣らで腹を空にするといふのなら、

い好^てれ優^すのとビノとリノくなが類^るに他^に
粉^ろ白^おーカ^いー木

東京中の白粉の投票券
當選第一等を得ました
●自然らしい白さにつ
●ノリノビが一等好
●肌を養育神を含
●ツカが強く化粧れがな
●洗った後まで白くな
●切ひきか、レ日ヤケを
●匂ひ盛かに艶麗さを増
●送料 内箱二枚、箱五枚
●定価 一箱二二十五錢
●東京の店に品切、飾は振舞は三錢切手
代用て、白粉本振舞法、本
●本 周松太郎 商店
●電話 回 特 長 振舞法 一五五
●電話 回 特 長 振舞法 一五五



日記のつけ方

日記の爲殺人の嫌疑を免る
意に於につける習慣を作る

河合武雄談



いこでございまして五十年と、
思ふやうに日記を續けて五十
ますと、乾度何かの利益がわが身に
興へられたと云ふことが分る様に
なるでございませう。日記は薄い小
さい手帳などに書きますと散失し
てしまひましたり一冊書ききると
それなり額がなくなつたりしな
ものでないから、黒は必要でござ
大きな厚い御手に書く方が宜し
く、

子供の時から

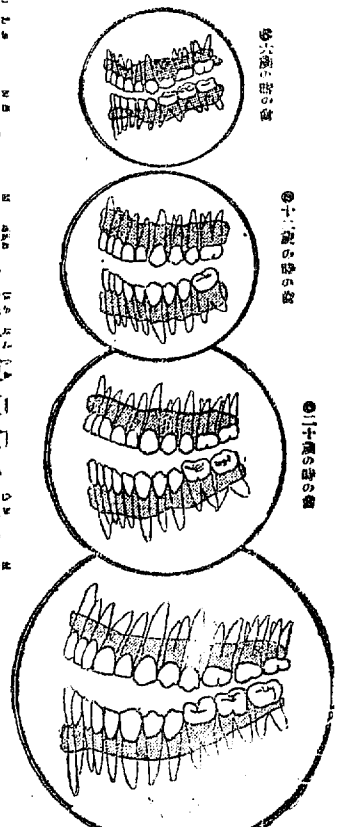
効果の優秀なる

ライオン 陸磨

朝晩缺かさず使つてをります。口中が常に完全に清掃されますから、決して齲齒に罹るやうなことはありません。のみならず、齒質がだんだんに強くなつてゆきますから、大人になつて愈々健全に立派に揃つた齒を持つことが出来ます。そして又斯ういふ齒は、老人になつても決して脱落するものでありません。

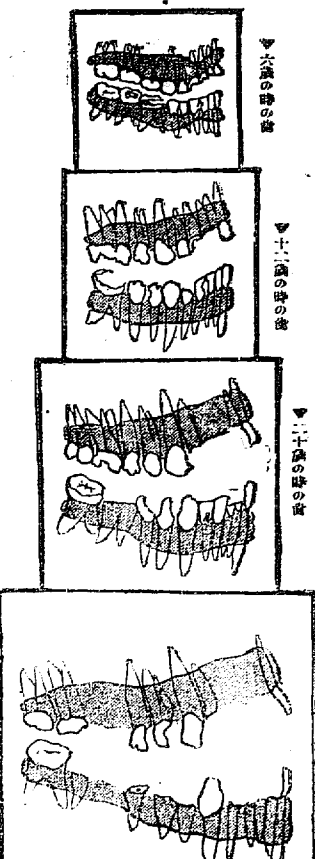
左の圖を對照してよく御覽下さいませ。

ライオン齒磨を子供の時から使った人の齒



子供の時から齒磨を充分使はない人の齒

歯は悪い悪



社並あり工事は既
運送も今年内には

社並あり工事は既
運送も今年内には

係り、余提の某氏等と、新機への
を注意し、目下使用の製鐵機上部、
五ヶ年を點検目となして使用し、
山形縣五ヶ年を、各町の調査を終
結、昭和三年三月九日、山形三番

るが一應不油に可返し家
近く移住すべしと▲小

本校舎の建築に決し三千
 餘兩の爲め此の山積石限附近に於
 けるものも幾多あり

